

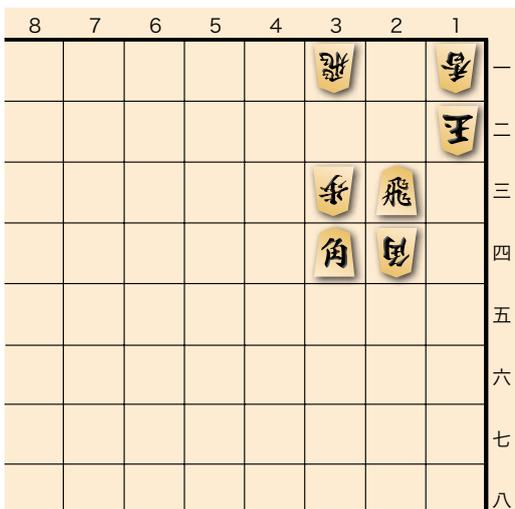
次の一手

答え合わせ

〈第27局〉

詰将棋 問題 5手詰 (5分で5級)

ヒント 打歩詰め解除



持駒 〓なし

〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

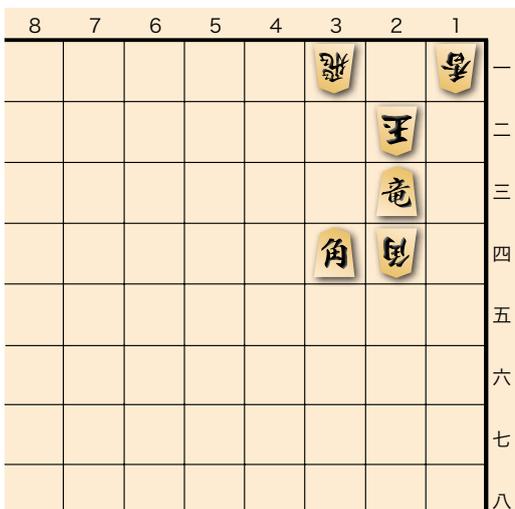
▲3 三飛不成▽2 一玉▲2 二歩▽同玉▲2 三飛成
までの5手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

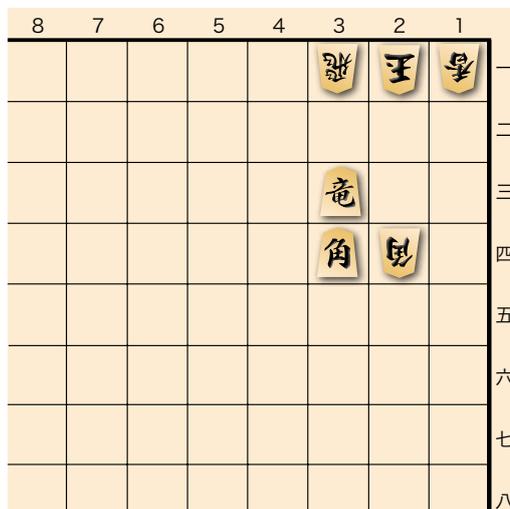
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



失敗図 (▽2一玉まで)



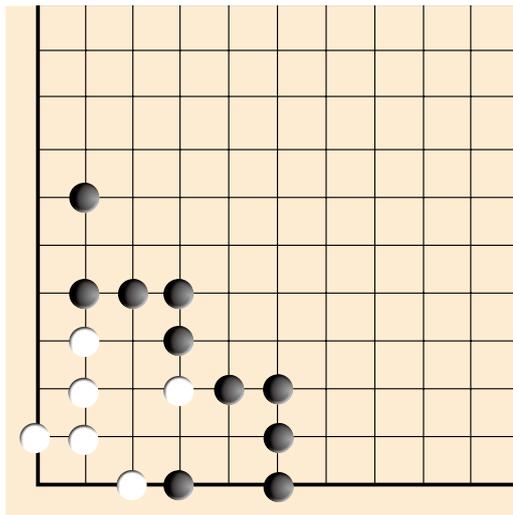
持駒 〓歩

〈解説〉初手▲3 三飛成と成るのが普通ですが、▽2 一玉 (上図) となったとき▲2 二歩が禁じ手 (打歩詰め) で打てません。そのため、初手▲3 三飛「不成」とするのが好手になります。

詰碁 問題 黒先白死 (10分で初段)

ヒント

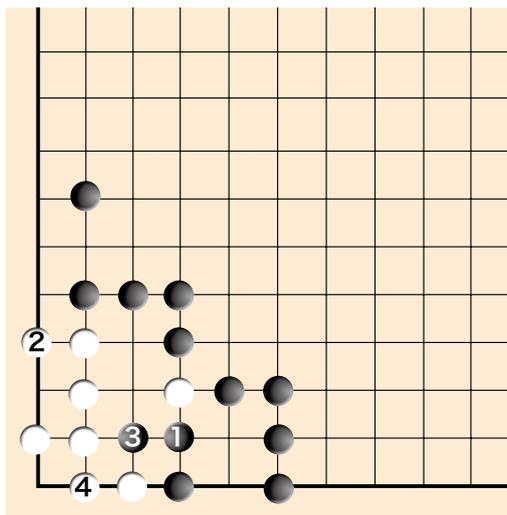
新春の暁に冴えわたる初手を!黒1は、心理的には最も打ちづらい手かもしれませんが。



〈監修〉大淵盛人九段

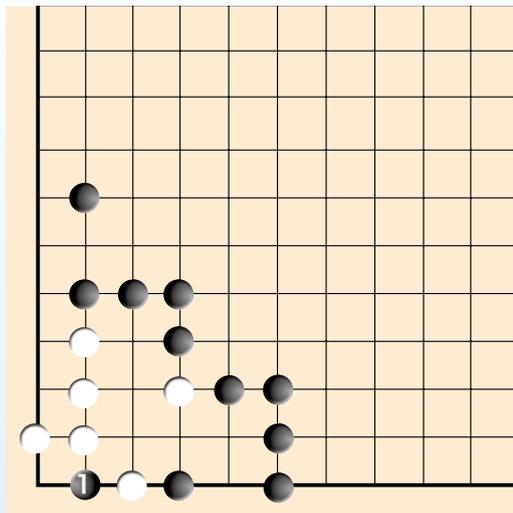
参考図

(生ぬるい攻めでは取れず)黒1は凡庸、白2、黒3に白4で楽々生きてしまいます。



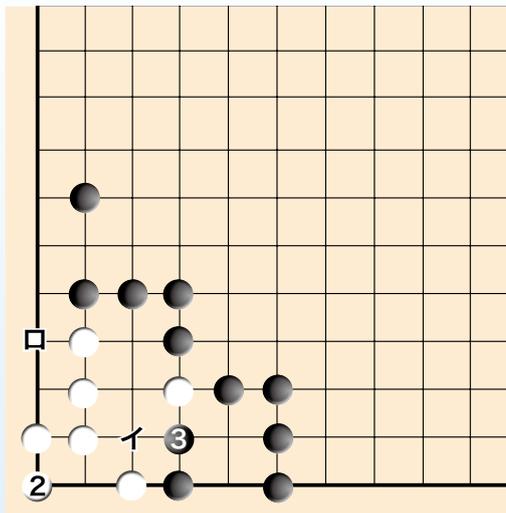
正解図①

「どうぞ、取ってください」並の攻めではどうにもなりません。しかし良い手がありました。黒1の捨石です。



正解図②

「眼を欠く手筋で白を召し取る」もはや白は2と取るしかなく、黒は寡黙に3。ご覧ください。参考図と酷似してますが、巧みな捨石によって白の眼がなくなるのです。(白イには黒口、白口には黒イ)



年頭の床の間に飾り、上達を祈願したくなる絶妙手でした

大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。

門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

